

2018年(平成30年)3月期 第2四半期 決算発表説明会 主要な質問に対する回答の要約

Q: 第2四半期は会社計画に対し売上収益・調整後営業利益が上回ったようですが、どの地域やセグメントで上回ったのでしょうか。

A: 日本、中国、欧州での増加が大きいです。日本は排気ガス規制に伴う駆け込み需要が想定以上に強かったことや、中国は高いインフラ投資の減速を想定して慎重に見ていたものの、油圧ショベル需要は第1四半期と同レベルの高い伸び率が継続したこと、欧州需要も政治リスクを懸念していたのですが、想定を上回ったこと等が主たる要因です。

Q: 中国の売上収益見通しにおいて、上期は前年同期比2倍強の実績に対し、下期は為替差があるもののマイナスの計画となっていますが、見方をおきかせください。

A: 10月の共産党大会が終了しましたが建機需要が急減する具体的な兆候はありません。但し、環境規制の強化を受けて2市4省での建設機械稼働規制が予定されていることや、インフラ投資をはじめ固定資産投資の鈍化リスク等を見込み、慎重な見方をしています。

Q: ソリューションビジネスセグメントの2社のPPA(資産再評価)による償却等の実績、及び通年見通しについて聞かせてください。

A: 第2四半期実績でH-E Partsのたな卸資産一括償却7億円と無形固定資産償却4億円の計11億円を計上しました。通年では第3四半期にBradkenのPPA償却46億円を織込み合計60億円の償却を想定しています。内訳はたな卸資産一括償却40億円、有形・無形固定資産償却20億円です。

Q: 下期のソリューションビジネスとマイニング部品サービスの売上収益が、上期に対して減収の計画となっていますが、理由をお聞かせください。

A: 両方とも下期の前提為替レートと上期の実績為替レートとの差によるもので、物量としては同等で見えています。